

派遣留学生帰国報告書

* 復学後の情報を入力してください

記入日	2015/6/3		
所属学部	工学研究科		
所属学科・専攻	人口システム科学専攻	学年	1年

1. 留学先について

留学先大学名	ストーニーブルック大学		
留学先所属学部等	特になし		
留学期間	出発日 8月19日	入学日 2014/8/25	修了日 2015/5/20 帰国日 2015/5.28
住居	<input checked="" type="checkbox"/> 大学の寮 <input type="checkbox"/> アパート等 <input type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> その他 ()		
	通学時間	10分	<input type="checkbox"/> 大学の紹介・あっせん
	通学方法	バスまたは徒歩	
	部屋のタイプ	<input checked="" type="checkbox"/> 個室 <input type="checkbox"/> ()人部屋 <input checked="" type="checkbox"/> 共同スペース有 (キッチン、バスルーム) <input type="checkbox"/> 無	
食事	自炊 90 %	学食 9 %	外食 1 % その他 () *%で記入してください
保険	海外旅行保険(名称)	損保ジャパン日本興亜保険	
	大学指定の保険(名称)	HTH Worldwide Insurance Services	<input checked="" type="checkbox"/> 強制加入
	その他		
渡航ルート	ex.) 成田⇄シカゴ(飛行機)⇄ウィスコンシン(電)		
	成田	⇄	JKF ⇄ ストーニーブルック(電車)

2. 留学にかかった費用について

総費用	300万	円	* おおよそでかまいません。		
出処					
自費	<input type="checkbox"/> 貯金	円	<input type="checkbox"/> アルバイト	円 <input type="checkbox"/> その他	円
援助	<input type="checkbox"/> 両親	円	<input type="checkbox"/> 家族・親戚	円 <input type="checkbox"/> その他	円
奨学金	<input type="checkbox"/> JASSO	円	<input checked="" type="checkbox"/> その他名称 (ヤマハ発動機国際友好基金)	100万	円
その他	<input type="checkbox"/> 千葉大学助成金	円	<input type="checkbox"/> その他 ()		円

2-1. 財政管理の方法

渡航時	<input type="checkbox"/> 現金	円	<input checked="" type="checkbox"/> クレジットカード	円	<input type="checkbox"/> その他()
留学中	<input type="checkbox"/> 海外送金	<input type="checkbox"/> キャッシング	<input type="checkbox"/> その他 (クレジットとデビットでの現地通貨引き出し)

2-2. 各費用の支払い方法 ex.)全額、クレジットカードで。

大学に払った費用	クレジットカード全額
住居にかかった費用	クレジットカード全額
その他	

2-3. 内訳 * 外貨と日本円に換算した金額を両方記入してください

費目	外貨金額		円貨金額	
	通貨単位			
渡航費(往復)	円		20万	円
海外旅行保険	円		10万	円
OSSMA	円		1万	円
査証・在留許可証	米ドル	160+SEVIC180	40800	円
住居	米ドル	12500	155万	円
食費	米ドル	300	36万	円
通学に要する交通費		なし		円
教科書、教材費	米ドル	500	6万	円
その他大学に支払った経費	米ドル			円
光熱費		住居費に含まれる		円
その他 ()				円
その他 ()				円
その他 ()				円
その他 ()				円
その他 ()				円

3. 学業面

履修科目名 * 全て。足りない場合には別紙に記入してください。	種類 ^{ex.} 正規、聴講	単位数	単位認定の有無	
1 CSE377	正規	3	<input type="checkbox"/> 有	<input checked="" type="checkbox"/> 無
2 ESG316	正規	4	<input type="checkbox"/> 有	<input checked="" type="checkbox"/> 無
3 EST327	正規	3	<input type="checkbox"/> 有	<input checked="" type="checkbox"/> 無
4 EST392	正規	3	<input type="checkbox"/> 有	<input checked="" type="checkbox"/> 無
5 SOC248	正規	3	<input type="checkbox"/> 有	<input checked="" type="checkbox"/> 無
6 AMS110	正規	3	<input type="checkbox"/> 有	<input checked="" type="checkbox"/> 無
7 BUS111	正規	3	<input type="checkbox"/> 有	<input checked="" type="checkbox"/> 無
8 ESG217	正規	3	<input type="checkbox"/> 有	<input checked="" type="checkbox"/> 無
9 EST202	正規	3	<input type="checkbox"/> 有	<input checked="" type="checkbox"/> 無
10 IAP390	正規	3	<input type="checkbox"/> 有	<input checked="" type="checkbox"/> 無
11			<input type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無
12			<input type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無
13			<input type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無
14			<input type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無
15			<input type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無
16			<input type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無
17			<input type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無
18			<input type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無
19			<input type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無
20			<input type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無

3-1. 授業科目の選択、登録方法

* 登録時期や千葉大学と異なる方法で登録する場合など具体的に説明してください。

オンラインのシステムを通して履修登録を行います。誰でも取れる講義と特定の講義を履修済みであることが前提条件となっている講義があります。交換留学生は自分の成績証明書を提示して許可を受けることで履修が可能になるため、事前に自分の履修してきた科目を確認することが大切です。許可の取り方は統一化されておらず(少なくとも僕の受けた理系の学科では)講義の担当の教授に直接お願いに行くか、学科の事務の人を通して申請するかです。

3-2. 授業内容、方法に関して

全体を通してグループでの活動と、発表(アウトプット)の多さが特徴だと感じました。アメリカでは小学校のころからグループワークをする機会が多いそうです。それ以外は基本的に千葉大学での講義と同様でした。

3-3. 語学力について

クラスで教授の話す内容を聞くことは比較的なれますが、ネイティブの学生同士での会話は早口で聞き取るのが難しかったです。留学生同士では、英語も聞き取りやすく、しゃべりやすい雰囲気もあるので、量をしゃべるには留学生同士でしゃべるのもよかったです。

3-4. 図書館など学内施設について

図書館は複数個あった。グループワーク用の場所や静かにしなければいけない場所など、自分の目的に合った使い方ができます。

3-5. その他

図書館ではソフトウェアのワークショップも行われているので興味があるものに参加してみるといいと思う。

4. 生活面 * 気づいたこと、心掛けたことなどをご記入ください。書ききれない場合には別紙等に続けてください。

4-1. 住居について

アパートは6人が1つのキッチンと2つのバスルームを共有します。キッチンはついていますがアメリカ人は料理をしない人が多いようです。キッチンを使った後には汚れた場所はきちんときれいにするなどしました。シャワーは暖かいお湯が出るまでにかかなり時間がかかり、時々いつまでたっても暖かくなならないこともあります。

4-2. 食生活について

基本的には自炊をしました。学食でおなか一杯食べると一食当たり10ドルほどしてしまうので自炊がおすすめです。僕は毎週バスに乗ってストップアンドショップというスーパーに一週間分の食材を買いに行っていました。このバスは日曜日を除いて毎日出ている、土曜日はストーニーブルックの学生証を提示することで無料で乗れます。日曜日は別の場所に向かう無料のバスも出ているので、週末のどちらかを利用して食材を買いに行くとよいと思います。

4-3. インターネット環境、携帯電話について

大学のキャンパス内はインターネットが使えます。携帯電話は現地で安いのを買いました。一緒にいた3人でファミリープランに加入し月33ドルほど払っていました。電話はかけ放題でデータ通信は1ギガバイトまで4gの高速回線、使い切った場合には低速になる契約でした。

4-4. 服装について

こちらの学生は服装にあまり気を使っていない人が多いので捨てる前提の洋服を必要最低限持っていました。現地のsears等で安く買えるのでそこまで心配する必要はないと思います。帽子とサングラスは必須です。

4-5. 健康管理について

食事をきちんと食べることと睡眠がとれれば大丈夫だと思います。もしすこし体調が悪いと感じたらキャンパス内にあるクリニックに行くと薬がもらえます。

4-6. 保険、OSSMAの利用 * 利用実績等をご記入ください

一度矯正器具が外れてしまったことがあったので、その際には日本の保険会社に連絡し、かかった費用を保障してもらいました。また、一度スポーツでけがをした際にはキャンパス内のクリニックで薬をもらいました。学校内のクリニックは簡単な診察と薬をもらうことができるので、安心です。

4-7. 課外活動について

講義の時間と毎週の活動時間がかぶっていたので毎週は参加できませんでしたが、日本人学生会であるJSOのイベントに数回参加しました。JSOのJ-PALというプログラムで日本語を学んでいる学生とペアになって定期的にあって日本語の練習をしました。また、大学内のサッカー大会にも参加しました。

4-8. 学外のコミュニティとの交流について

特になし

4-9. 日本から持参してよかったもの

常備薬。調味料(シティーに行けばある程度は調達可能)

4-10. 日本から持参したが不要だったもの

特になし

4-11. 現地での対人関係について気づいたこと(習慣の違い、マナーなど)

部屋の使い方の認識が違う気がした。共有のテーブルやバスルームなどの使い方が私からするとすごく汚かった。現地の学生は朝シャワーを浴びるようなので、朝はたまに思うように使えないこともあった。

4-12. 余暇の過ごし方

旅行 * 複数回出かけた方はすべての日程、行き先、費用等をご記入ください。

ワシントン、2泊、200ドル程度
ボストン、1泊、100ドル程度
アリゾナ、1週間、700ドル程度
シカゴ、3泊、300ドル程度
カリフォルニア、1週間、1000ドル程度

その他

5. 報告

5-2. 留学先大学について(150~200文字)

私が留学したストーニーブルック大学はニューヨークの州立大学です。世界有数の大都市であるニューヨークシティから電車で2時間の距離にあります。理数系に強いといわれている大学で、MRIの業績でノーベル賞を受賞したPaul Christian Lauterburが教授として在籍していました。アートや音楽などの学科があるなど、幅広い分野の学生が学んでいる大学でもあります。

5-3. 留学中の様子(450~500文字)

私が住んでいたのはキャンパス内にあるウェストアパートメントというところでした。6人で一つの部屋に住み、キッチンとバスルームは共同で使用します。部屋の中には6人それぞれに個室があり、ベッド、机、クローゼットなどがあります。ウェストアパートメントは本来GPAが一定以上の学生しか住むことができないので、基本的には勉強をしっかりとっている学生が集まります。次に学習に関してですが、こちらでは入学して勉強をしていく中で自分の専攻を決定していくので、比較的自由に講義を選択することができます。例えば、工学系を専攻している学生は工学系以外(マーケティング、ビジネス、マネジメント等)を学ぶチャンスも多くあります。将来に向けて自分で自分のキャリアを作っていくという感覚です。実際に手を動かす機会が多く、クラス内での意見の交換が活発に行われます。交友関係では、学期が始まる前に交換留学生を集めたオリエンテーションがあり、そこが友人を作る初めのチャンスになります。学期が始まると留学生間でパーティーがあり、留学生同士で交流する機会が多いです。現地の学生とは、同じ講義をとったりクラブ活動に参加したりなどで知り合います。自分から積極的に話しかけていくと相手も返してくれます。ここは世界中変わらない気がします。

5-4. 留学希望者へのアドバイス(300~400文字)

これまで日本で生活して勉強するだけではわからなかったことを多く学ぶチャンスで、留学を通して様々なことが客観的に見るようになると思います。日本からみた日本を中心とした世界ではなく、留学先から見た世界を感じることができます。留学をしようと決意するには多くのエネルギーと勇気が必要だと思いますが、迷ったら挑戦してみてください。留学そのものから得られること以外にも、それに向かっていく過程の中で学ぶこと、気づくことがたくさんあるはずです。

5-5. 留学を終えて * 派遣留学プログラムについて、今後の目標、進路、自信がついた部分、不安に思うことなどなんでも。

留学を終えて、10か月があっという間だったと思います。僕は当初から留学を考えていたわけではなく、大学生活を送る中で留学したい、外に出てみたいという気持ちが強くなり決断しました。千葉大学の派遣留学プログラムは千葉大学への授業料だけで参加することができ学校同士のこれまでのつながりもあるため、比較的スムーズに留学をすることができました。留学前にやりたかったことの中でできなかったこともありましたが、全体を通して自分に妥協せずにやれたと思います。1年間の留学をやりきったことだけでも今後への大きな自信になりました。この経験を今後の研究、社会人になった時にどのように活かしていけるのが楽しみです。

お疲れ様でした

国際教育センター海外留学支援室 2015.2作成版